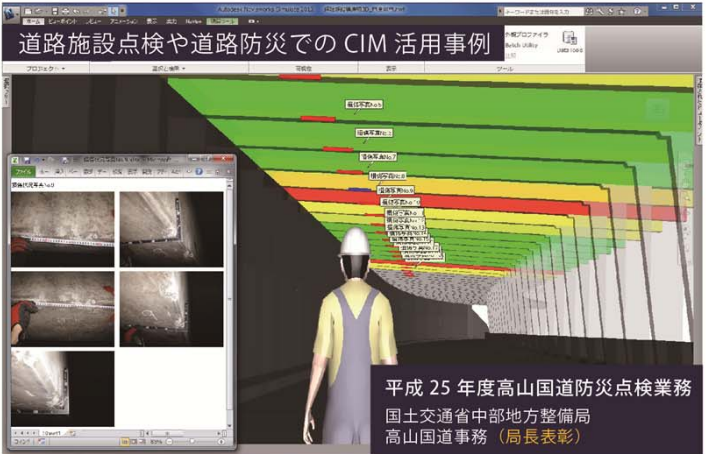
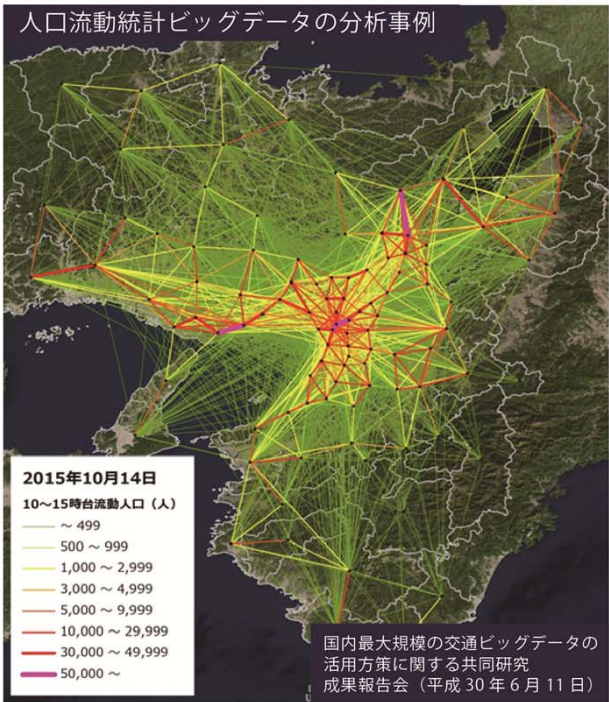
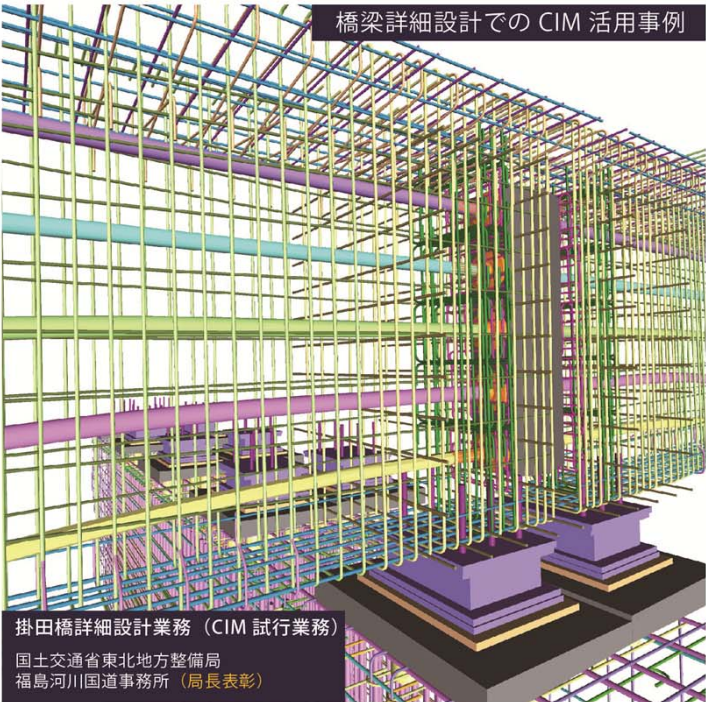


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 (該当分類に○を付記)		
技術名称	ICT for Civil Engineering	担当部署	総合技術本部 CIM推進室
NETIS登録番号	なし	担当者	森 博昭
社名等	中央復建コンサルタンツ株式会社	電話番号	06-6160-1171
技術の概要	1. ICTが土木を改革する！ ICTの土木分野での利活用は、弊社ひいては土木業界全体の魅力向上、働き方の改善に資する取り組みであり、その実現は社会的要請となっています。弊社は建設コンサルタントとして、土木分野でのICTの利活用を強力に推進してまいります！ 2. 世界最先端のCIM！ 弊社はCIMが話題になる前の平成19年から3次元設計に取り組み、多くの実績を蓄積してきました。最初は手探りで試行でしたが、今では社員一人ひとりがCIMの特徴や効果を理解し、明確な目的をもって自発的にCIMに取り組んでいます。 3. 設計AIシステムの開発に着手！ 弊社と株式会社フォーラムエイトは、平成29年12月、CIMを意識した設計自動化システムの開発に着手いたしました。 本システムは、道路、橋梁、河川構造物等の設計に関して、データベースを活用した自動チェックによる設計ミス防止や、3Dモデルをベースとした設計計算・図面作成の自動化等により、生産性および設計品質の向上を図ることを目的としています。ビッグデータ利用、機械学習といった最新技術の活用を通して、構造設計業務の大幅な時間削減と属人的なミス低減による生産効率向上・労働時間短縮等の課題に取り組むもので、これにより建設業界における働き方改革に貢献し、ひいては業界の魅力向上、人材確保へとつながることが期待されます。 4. UAV・レーザースキャナーをフル活用！ 弊社ではUAVを3機、レーザースキャナーを1台保有しており、調査、計画、設計、維持管理、防災等、様々な分野で活用しています。また「EE東北'17 UAV競技会」にて準優勝を獲得するなど、UAVを安全確実に飛行させる訓練にも注力しています。 5. ビッグデータを華麗に解析！ ビッグデータの利活用は、社会インフラの計画や維持管理のやり方を大きく変える可能性を秘めています。弊社はETC2.0プローブ情報や人口流動統計OD等のビッグデータ利活用に関する多くの実績を有しており、今後そのノウハウを他分野に展開していきたいと考えています。 6. ICTで新3Kを実現！ ICTの利活用は、単に道具を変えるという「部分最適」にとどまらず、仕事のやり方、フローを変える「全体最適」につながる取り組みです。それは、弊社ひいては土木業界全体の魅力向上、働き方の改善に資する取り組みであり、まさに「新3K」(休暇、給与、希望)を目指した取り組みと言えます。弊社はその実現に向けた人材育成に注力しています。		

6. 写真・図・表



■主な CIM 実績

年度	業 務 名	発 注 者
H27	掛田橋詳細設計業務【局長表彰】	国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所
H27	東京国道管内維持管理マネジメント検討業務【所長表彰】	国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所
H27	江田高架橋修正設計業務【所長表彰】	国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所
H28	蒲郡 BP 豊沢トンネル詳細設計業務【局長表彰】	国土交通省中部地方整備局 名四国道事務所
H28	富岡トンネル外実設計業務【所長表彰】	国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所
H28	新宮紀宝道路橋梁詳細設計業務【局長表彰】	国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所
H29	秋川南岸道路 (第一工区下元郷地区) 道路及び橋梁予備設計【局長表彰】	東京都 西多摩建設事務所